

中学地理プリント（過去問類似）

南アメリカ・オセアニア州

名前

得点

/8

問1 南アメリカ大陸の赤道付近には、アンデス山脈のように標高が約3800mに達する高地と、アマゾン川流域のように標高が100mに満たない低地があります。これら2つの地域の気候の違いについて説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2022年 宮城県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 標高約3800mの高山地帯では、低緯度であっても標高の影響で気温が一年中約11度と低く安定し、低地の熱帯雨林気候に比べて涼しい。 | 2. 赤道付近であれば標高に関わらず気温は一定であり、高山地帯でもアマゾン川流域と同様に年間平均気温が約27度の高温多雨となる。 | 3. 標高の高い地域では太陽との距離が近くなるため、低地の熱帯雨林地帯よりも年間平均気温が大幅に高くなり、乾燥した気候となる。 | 4. アマゾン川流域の低地では、標高が低いと風が遮られやすく、降水量が年間100mm以下という乾燥した砂漠気候が広がっている。 |
|---|--|---|---|

問2 南アメリカ大陸の北端に位置するある国では、輸出総額のうち原油が約67%、石油製品が約30%を占めています。輸出額の合計の約97%がこれら特定の資源に関連した品目に集中しているこの国の名称として正しいものを選びなさい。（2017年 沖縄公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|---------|-------|-----------|
| 1. ベネズエラ | 2. ブラジル | 3. チリ | 4. アルゼンチン |
|----------|---------|-------|-----------|

問3 オーストラリア大陸に古くから居住している先住民で、地面に置いたキャンパスに細かな点を用いて描く独自の芸術文化を継承している人々を何といいますか。（2023年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|----------|--------|----------|--------|
| 1. アボリジニ | 2. マオリ | 3. イヌイット | 4. アイヌ |
|----------|--------|----------|--------|

問4 オーストラリアにおける1960年から2020年にかけての輸出品目の変化と、その背景について述べた文として、正しいものはどれですか。なお、1960年当時は羊毛が輸出額の40.5%を占めていたものとします。（2025年 福岡県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. かつては羊毛などの農産物が輸出の中心だったが、現在は鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が輸出額の多くを占めている。 | 2. 1960年代から現在に至るまで、乾燥した気候を活かした羊毛の輸出が常に輸出総額の第1位を維持している。 | 3. かつては鉄鉱石などの鉱産資源が中心だったが、現在はアジア向けの肉類や小麦といった農産物の割合が急増している。 | 4. 広大な土地を利用した大規模な農業から、現在は付加価値の高い自動車や電子部品などの機械類の輸出へと移行した。 |
|--|--|---|--|

問5 1960年代のブラジルでは、輸出総額の約半分をコーヒー豆が占める「モノカルチャー経済」の状態にありましたが、2020年の統計では特定の品目への依存度が下がり、複数の品目が輸出上位に並んでいます。現在のブラジルの輸出構造の変化について、適切な説明を選びなさい。（2023年 鹿児島県公立入試 類似）

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. コーヒー豆の輸出割合が低下し、鉄鉱石や大豆、原油などがバランスよく輸出される多角的な構造に変化した。 | 2. コーヒー豆の輸出が完全になくなり、現在は工業製品のみを輸出する先進国型の構造に変化した。 | 3. コーヒー豆への依存がさらに強まり、輸出総額のほとんどを農産物が占めるようになった。 | 4. 鉱山資源が枯渇したため、現在は大豆や小麦などの穀物輸出に特化した構造に変化した。 |
|---|---|--|---|

問6 南アメリカ大陸に位置するブラジルは広大な国土を持っています。日本の陸地面積に対する農地面積の割合が約13%であるのに対し、ブラジルの状況について述べた文として最も適切なものはどれですか。なお、ブラジルの陸地面積は約91,474万ha、農地面積は約40,581万haであるものとします。（2024年 秋田県公立入試 類似）

- | | | | |
|--|---------------------------------------|--|--|
| 1. 国土面積に占める農地面積の割合は約44%に達しており、日本と比較して非常に高い | 2. 国土面積に占める農地面積の割合は日本よりも低く、10%を下回っている | 3. 農地面積の合計は日本より多いが、国土が広すぎるため面積比率は日本と同程度である | 4. 国土の大部分が未開発の熱帯雨林であるため、農地面積の割合は日本より低い |
|--|---------------------------------------|--|--|

問7 アマゾン川流域には広大な熱帯林が広がっているが、近年の急速な開発による環境への影響が懸念されている。この地域の現状と課題についての記述として最も適切なものはどれか。（2019年 北海道公立入試 類似）

- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 農地や牧場の造成、鉱山開発などのために森林伐採が進み、持続可能な開発が求められている | 2. 酸性雨による森林の立ち枯れが深刻化しており、排ガス規制が強化されている | 3. 砂漠化の進行を食い止めるため、外来種の植物を用いた緑化が進められている | 4. 過度な放牧により土壌が流出しやすくなっており、永久凍土の融解も懸念されている |
|---|--|--|---|

問8 南アメリカ大陸の西側に連なる広大な山脈において、古くから荷物の運搬や衣料の原料を得るために飼育され、人々の生活と密接に関わっている家畜が知られています。この家畜であるリャマが主に飼育されている山脈の名前を答えなさい。（2016年 茨城県公立入試 類似）

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. アンデス山脈 | 2. ヒマラヤ山脈 | 3. アルプス山脈 | 4. ロッキー山脈 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 標高約3800mの高山地帯では、低緯度であっても標高の影響で気温が一年中約11度と低く安定し、低地の熱帯雨林気候に比べて涼しい。	気温は標高が高くなるにつれて下がる性質（高度による気温の遞減）があるため、赤道に近い低緯度であっても、アンデス山脈のような高山地帯では一年中涼しい「高山気候」となります。一方で、標高の低いアマゾン川流域などは、強い日射の影響を直接受けるため、年間平均気温が約27度、降水量が2000mmを超える「熱帯雨林気候」となります。このように、同じ緯度であっても地形（標高）によって気候が大きく異なるのが南アメリカ州の特徴です。
問2	答え 1 ベネズエラ	南アメリカ北部のカリブ海に面したベネズエラは、世界有数の石油埋蔵量を誇る国です。国の収入の大部分を原油や石油製品に依存しており、輸出品目の内訳でもこれらが圧倒的な割合を占めます。一方で、ブラジルは鉄鉱石や大豆、チリは銅、アルゼンチンは牛肉やトウモロコシが主な輸出品目であり、ベネズエラの貿易構造とは異なります。
問3	答え 1 アボリジニ	オーストラリア大陸の先住民族はアボリジニと呼ばれます。彼らは自然界の万物に精霊が宿るという独自の信仰を持ち、砂絵や岩壁画、そして点描（ドット・ペインティング）などの伝統芸術を現代に伝えています。ニュージーランドの先住民族であるマオリと混同しないよう注意が必要です。
問4	答え 1 かつては羊毛などの農産物が輸出の中心だったが、現在は鉄鉱石や石炭などの鉱産資源が輸出額の多くを占めている。	オーストラリアは広大な国土と豊富な資源に恵まれており、時代によって需要に応じた輸出品目を変化させてきました。1960年代には羊毛や小麦といった農産物の輸出が主要でしたが、2020年の統計では鉄鉱石が32.7%、石炭が12.3%を占めるなど、鉱産資源が輸出の柱となっています。これは、アジア地域の経済成長による鉄鋼生産や発電用燃料の需要増加に対応した結果です。
問5	答え 1 コーヒー豆の輸出割合が低下し、鉄鉱石や大豆、原油などがバランスよく輸出される多角的な構造に変化した。	かつてのブラジルは、特定の農産物であるコーヒー豆の輸出に依存するモノカルチャー経済でした。しかし、現在はアマゾン盆地の鉄鉱石（カラジャス鉄山など）の採掘や、セラードと呼ばれる地域での大規模な大豆栽培、さらに海底油田からの原油生産が進んだことで、農産物と鉱産資源の両面で輸出品目が多角化し、国際価格の変動に強い産業構造へと変化を遂げています。
問6	答え 1 国土面積に占める農地面積の割合は約44%に達しており、日本と比較して非常に高い	ブラジルは世界有数の農業国であり、その農地面積は約40,581万haと広大です。これは国土全体の約44%を占めており、山地が多く農地面積の割合が約13%にとどまる日本と比較すると、土地利用における農地の割合が極めて高いことがわかります。
問7	答え 1 農地や牧場の造成、鉱山開発などのために森林伐採が進み、持続可能な開発が求められている	アマゾン川流域では、トランスアマゾニアンハイウェイなどの道路建設に加え、肉牛の放牧場や大豆畑への転用、鉄鉱石などの資源開発によって熱帯林の破壊が進んでいる。地球温暖化への影響も懸念され、経済開発と環境保護を両立する「持続可能な開発」が重要な課題となっている。
問8	答え 1 アンデス山脈	南アメリカ大陸の太平洋沿いに位置するアンデス山脈は、標高が非常に高い地域が連続しています。このような厳しい高地環境において、現地の人々はリャマやアルパカといった家畜を飼育し、険しい山道での荷物運搬や、寒さをしのぐための衣服の原料となる毛を利用して生活を営んできました。他の選択肢であるヒマラヤ山脈はアジア、アルプス山脈はヨーロッパ、ロッキー山脈は北アメリカに位置するため、大陸の名称から判断することも可能です。